

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年8月24日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年8月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機タービン建屋上部の雨水対策工事における顔面汚染について】 3号機タービン建屋の屋上において防水作業を行っていた協力企業作業員が、作業終了後の汚染検査にて顔面に放射性物質の付着を確認。 鼻腔スミアからも汚染が検出されたことから、内部取込のおそれがあると判断。 その後、除染を実施し、退出基準を下回ったことから、入退域管理棟から退域。 緊急医療室の医師による問診の結果、健康状態に異常なしと診断。 ホールボディカウンタによる測定の結果、内部被ばく線量は記録レベル(2mSv)未満であった。 今後、詳細原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	G I	8月18日
2	<p>【6号機原子炉隔離時冷却系室空調機(AH6-4)空気抜き弁手動ハンドル空転について】 6号機原子炉隔離時冷却系室空調機(AH6-4)の空気抜き弁の開操作を実施したところ、全開位置に到達後も開方向に空転することを確認。 今後、原因調査および点検修理予定。 なお、現在は当該空調機は使用していない。</p>	G III	8月19日
3	<p>【5号機常用空冷冷却水循環装置(H)の送風機(B)軸受取付け部嵌合値の管理値逸脱について】 5号機常用空冷冷却水循環装置(H)の本格点検において、送風機(B)の寸法測定を実施したところ、軸受取付け部の嵌合値の管理値逸脱を確認。 今後、原因調査および軸の交換を予定。</p>	G III	8月18日